

坂戸、鶴ヶ島水道企業団 中期経営計画（令和5年度～令和9年度）【概要版】

1 はじめに

坂戸、鶴ヶ島水道企業団は、99%を超える給水普及率を実現していますが、施設の老朽化の進行や耐震化への要請から更新需要が増加している状況です。一方、その財源としての給水収益は、近年の節水機器の普及や給水人口の減少などにより水道料金収入の減少が見込まれており、財源確保が課題となっています。

このような状況の下、企業団では今後予想される状況に対応し、安全で安心な水道を将来に引き継ぐために、「水道事業ビジョン」及び当該計画を進めるための「水道事業基本計画」を平成29年度に策定しました。この計画を踏まえ、現行の中期経営計画の期間終了に伴い、新たに令和5年度から令和9年度を計画期間とした中期経営計画を作成しました。

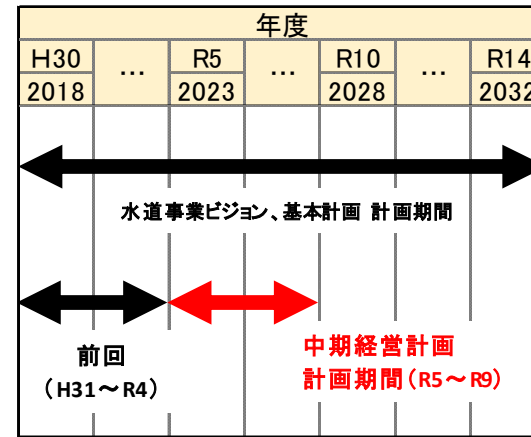


図1 中期経営計画の計画期間

2 基本数値

(1) 水需要予測、給水計画及び水源計画

給水人口及び給水量を基に水需要を求め、それを賄うために必要な水源を県水受水量及び地下水量により算出します。

表1 水需要予測、給水計画及び水源計画

項目	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和5年度～9年度計	適用
①年平均給水人口(人)		167,833	167,235	166,638	165,852	165,068	-	
②1人1日平均有収水量(ℓ)		290	290	291	291	291	-	③÷年度内日数÷①×1,000
③年間有収水量(m ³)※1		17,839,938	17,730,970	17,671,475	17,631,325	17,603,868	88,477,576	
④有収率(%)		92.41	92.48	92.55	92.63	92.70	-	
⑤年間給水量(m ³)※1		19,305,036	19,172,720	19,093,880	19,034,020	18,990,276	95,595,932	
⑥県水受水量(m ³)		16,216,362	16,105,260	16,038,830	15,988,460	15,951,744	80,300,656	
⑦地下水量(m ³)		3,088,674	3,067,460	3,055,050	3,045,560	3,038,532	15,295,276	⑤-⑥
⑧取水量(m ³)※2		3,397,541	3,374,206	3,360,555	3,350,116	3,342,385	16,824,803	⑦×1.1

※1 有収水量は、お客さまに販売した水量です。給水量は、浄水場や配水場から送り出した水量です。
 ※2 地下水量に浄水場内で損失する水量を加えたものが取水量となります。

(2) 量水器口径別水量

量水器の口径別にそれぞれ水道件数及び水量を求め、求めた水量を水量区画別に推計し、料金水量を算出します。

表2 口径別水量区画別料金水量

区分	水道件数	水量区画別料金水量								計
		10m ³ まで	10m ³ を超え20m ³ まで	20m ³ を超え50m ³ まで	50m ³ を超え100m ³ まで	100m ³ を超え300m ³ まで	300m ³ を超え500m ³ まで	500m ³ を超え15,000m ³ まで	15,000m ³ を超える分	
13mm	1,431,182	5,694,468	3,459,271	3,911,977	749,696	60,704	7,223	7,640	0	13,890,979
20mm	3,692,478	15,981,475	13,678,406	24,222,878	6,624,914	585,702	24,455	20,176	0	61,138,006
25mm	63,702	273,786	232,355	535,426	526,229	789,328	269,172	293,465	0	2,919,761
40mm	24,294	108,228	103,739	286,455	415,763	1,192,469	716,390	2,220,177	0	5,043,221
50mm	3,712	17,369	17,349	50,357	78,460	287,304	232,609	1,278,576	0	1,962,024
75mm	1,620	7,982	7,997	23,967	39,937	159,801	149,954	1,791,233	0	2,180,871
100mm	240	1,194	1,203	3,581	5,978	23,903	23,228	702,859	284,268	1,046,214
150mm	120	590	550	1,550	2,500	9,205	6,715	275,390	0	296,500
計	5,217,348	22,085,092	17,500,870	29,036,191	8,443,477	3,108,416	1,429,746	6,589,516	284,268	88,477,576

3 事業計画

(1) 事業計画

令和5年度から令和9年度の事業計画は次のようになります。計画期間では、主に「送水管」、「口径300mm以上の配水管」、「重要給水管路」及び「布設後40年以上経過した口径50mm以上のビニル管」の耐震化を実施する予定です。施設設備に関しては更新事業も行いますが、適宜点検を実施し、できるだけ修繕で対応する予定です。

表3 計画期間の主な事業内容

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
①送水管更新	①導水管・送水管更新	①導水管・送水管更新	①導水管更新	①導水管更新
②幹線管路更新	②幹線管路更新	②幹線管路更新	②幹線管路更新	②幹線管路更新
③老朽管更新・耐震化	③老朽管更新・耐震化	③老朽管更新・耐震化	③老朽管更新・耐震化	③老朽管更新・耐震化
④管網整備	④管網整備	④管網整備	④管網整備	④管網整備
⑤次亜注入設備更新 (鶴ヶ島浄水場)	⑤次亜注入設備更新 (坂戸浄水場)	⑤受変電設備更新 (坂戸浄水場)	⑤計装設備更新	⑤計装設備更新
⑥自家発電設備更新 (坂戸浄水場)	⑥水質検査機器更新	⑥水質検査機器更新	⑥遠方監視装置更新	⑥水質検査機器更新
⑦水質検査機器更新	⑦クライアントPC更新 (鶴ヶ島浄水場)		⑦水質検査機器更新	
⑧クライアントPC更新 (坂戸浄水場)				

表4 計画期間の事業費

(単位：千円)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和5年度～9年度計
委託業務計画	328,034	404,636	441,089	395,209	447,653	2,016,621
修繕計画	141,735	151,878	146,389	151,478	134,963	726,443
建設改良計画	1,552,140	1,628,226	1,130,361	1,001,032	1,102,553	6,414,312
その他業務計画	66	418	66	341	66	957
計	2,021,975	2,185,158	1,717,905	1,548,060	1,685,235	9,158,333

(2) 人員計画

技術の円滑な継承と将来的な世代間構成比の適正化を図るため、継続的な職員の採用を予定しています。

表5 人員計画

(単位：人)

項目	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員数		53	54	54	55	56

表6 人件費内訳

(単位：千円)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
原水及び浄水費	116,953	121,191	122,162	119,078	125,705
配水及び給水費	115,533	118,003	120,464	120,269	118,783
受託工事費	11,182	13,624	14,565	14,926	15,191
業務費	15,316	16,214	16,371	16,541	16,651
総係費	117,841	112,857	114,231	120,679	127,371
計	376,825	381,889	387,793	391,493	403,701

4 財政収支

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出は、水需要の減少に伴う給水収益の減少のほか、物価高騰に伴う動力費の増加や建設投資の増加に伴う減価償却費の増加等により、令和6年度から経常損失が発生する見込みとなっています。

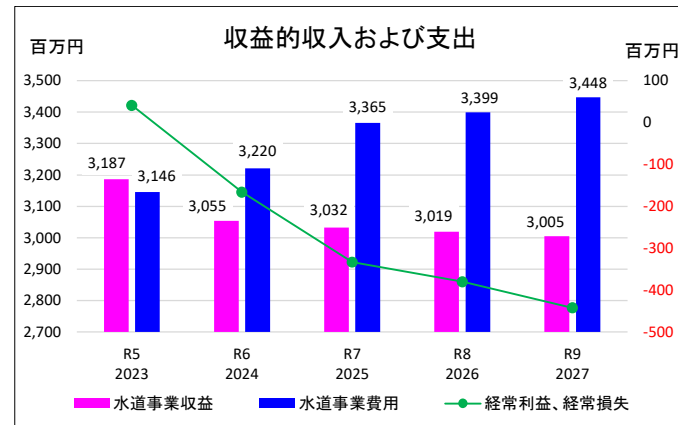


図2 収益的収入及び支出

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出は、送水管、配水管などの更新事業によって、毎年度の事業費が平均15億円以上となる見込みです。そのため、資本的収支では収入よりも支出が上回り、不足額が生じています。この不足額を補填するために現金預金の取り崩しや企業債の発行が必要となる見込みです。

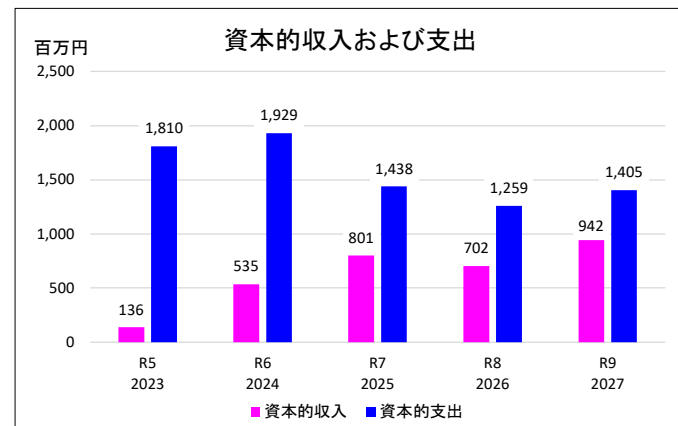


図3 資本的収入及び支出

(3) 予定キャッシュフロー

予定キャッシュフローは、現行の料金体系を基に企業債の発行を含めて推計すると、現金預金の期末残高は、令和6年度以降、約10億円で推移する見込みです。

表7 予定キャッシュフロー

(単位：円)

区分	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
業務活動	当期純利益・当期純損失	35,599,759	△ 162,775,322	△ 330,005,793	△ 377,202,609	△ 439,581,810
	減価償却費	853,643,892	905,871,604	942,509,510	967,154,601	991,419,112
	資産減耗費	31,943,640	33,403,740	33,403,740	33,403,740	33,403,740
	長期前受金戻入	△ 264,297,000	△ 262,234,000	△ 259,793,000	△ 262,260,000	△ 261,439,000
	未収金の増減	△ 59,515,736	5,817,433	1,198,909	809,080	553,298
	未払金の増減	172,645,400	3,165,534	12,745,828	542,956	2,284,547
	引当金	△ 496,240	△ 270,281	△ 55,702	△ 37,590	△ 25,707
計		769,523,715	522,978,708	400,003,492	362,410,178	326,614,180
投資活動	固定資産取得による支出	△ 1,810,091,263	△ 1,917,037,360	△ 1,351,192,480	△ 1,158,480,000	△ 1,300,362,490
	補助金等による収入	136,306,000	135,109,000	300,631,000	101,535,000	141,961,000
	資本的収支消費税	156,346,260	167,689,219	121,958,246	104,420,391	116,017,153
計		△ 1,517,439,003	△ 1,614,239,141	△ 928,603,234	△ 952,524,609	△ 1,042,384,337
財務活動	企業債による収入	0	400,000,000	500,000,000	600,000,000	800,000,000
	企業債償還による支出	0	0	△ 11,499,245	△ 25,988,294	△ 43,497,045
計		0	400,000,000	488,500,755	574,011,706	756,502,955
現金預金 増減額		△ 747,915,288	△ 691,260,433	△ 40,098,987	△ 16,102,725	40,732,798
現金預金 期首残高		2,503,800,423	1,755,885,135	1,064,624,702	1,024,525,715	1,008,422,990
現金預金 期末残高		1,755,885,135	1,064,624,702	1,024,525,715	1,008,422,990	1,049,155,788

表8 企業債発行額

(単位：円)

区分	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
企業債発行額		0	400,000,000	500,000,000	600,000,000	800,000,000

(4) 貸借対照表

貸借対照表は、資産に対する負債の割合が低いため、計画期間内においては健全な水道事業の経営が継続できる見込みです。

しかし、今後は企業債発行に伴う負債の増加が予想されます。

